

盛夏で思い浮かぶのは川遊び、盆踊り、カキ氷、西瓜・・・どれも活動的で楽しいことも多い季節と思います。東白川村も賑やかな季節の到来です。

7月から8月にかけて東白川村の皆さんの頑張りが嬉しいニュースとして届いています。東白川村消防団が加茂郡大会で優勝し加茂郡代表として8月7日の県大会に出場します。また、東白川村体育協会のバスケットボール男子チームが久しぶりに郡大会、地区大会を勝ち抜き9月18日の県大会に出場します。本村出身の高校生の活躍も見事でカヌー競技で世界選手権やインターハイに出場、文科系では全国高校情報処理競技大会や全国高校総合文化祭への出場報告が相継いでいます。東白川中学校の各クラブ活動の中体連やコンクールの活躍も見事でした。まさにがんばる東白川村の夏といえます。

さて、がんばると言えば、今年の東白川村の夏祭りの合言葉は「笑・喜・美」と聞いております。東白川村商工会青年部を中心とした夏祭り実行委員会の皆さんのがんばりに応えるためにも、大勢の皆さんにお出かけいただいて、喜び一杯の笑顔で美しい花火を満喫できればと思っています。人が輝く東白川村の夏が盛り上がっています。

今年は11月に全国担い手サミットが岐阜県で開催されますが、農業振興の一つのキーワードに就農支援があります。村ではトマト農家への就農支援や「みのりの郷東白川株式会社」での就農支援をこれからの農業振興の大きな柱の一つとして掲げて、国や県の取り組みと合わせて有効な方法を見出して参りたいと考えております。この村の資源が何かと考えるとき、農地は大事な要素です。そして今までに培われてきた米、白川茶、トマトなどの生産技術も大事な資産です。農地を守ることとは農地を活かし、農地から収入が得られ、生活の糧が生産されることが大前提であると思います。今、東白川村に最も重要なことの一つは農地を最大限に活用し特産である農産物の生産を活発にし、農産物の販売について独自の販路を開拓し就農人口を増やす仕組みづくりだと思います。もちろん仕組みだけでは何も生まれません、そこに人材という資源が必要不可欠です。今後、仕組みづくりと人確保のための施策を講じることは言うまでもありませんが関係団体や農家の皆様と力を合わせて東白川村の農業の未来を実りあるものにしなくてはなりません。

平成28年8月